

# PRESS RELEASE



尚綱学院大学

Passion with Mission

熱い心、響かせる

リリース日:2025年1月14日

## 映画「普通に死ぬ～いのちの自立～」上映会開催について

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

子ども学類2年生の授業「教育方法論」履修生を対象とした上映会ですが、一般の方も鑑賞いただけます。  
重い障害を抱えた人たちとその家族、そしてその支援者の葛藤と気づき、取り組みを追ったドキュメンタリー映画です。監督の貞末麻哉子氏によるアフタートークもごございます。

ご多忙の折恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

### 【概要】

日時:2025年1月17日(金)

午前の部 9時半開場・10時開演・12時半終了

午後の部 13時開場・13時半開演・16時終了

場所:仙台市戦災復興記念館 4F 研修室

入場料金:一般の方 500円((定員64名・要予約)

予約連絡先:higashi@shokei.ac.jp

尚綱学院大学

その他のプレスリリースは

こちらから▶



<本件への問い合わせ先>

尚綱学院大学 子ども類

教授 東 義也

TEL:022-381-3369

Email:higashi@shokei.ac.jp

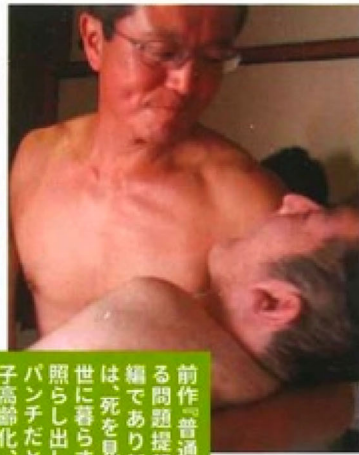
<お問い合わせ先>

尚綱学院大学 教育研究支援課

(大学広報室)清野 正恵

TEL: 022-381-3501

Email:ksien@shokei.ac.jp



前作『普通に生きる』が世に對する問題提起だとしたら、その続編であり新作の『普通に死ぬ』は、死を見つめ追うこと、この世に暮らす私たち全ての「生」を照らし出した強烈なカウンターパンチだと思う。福祉、医療、少子高齢化、社会制度、資本主義、現代社会が抱えている問題を、障害児の暮らしを通して見事に私たちの目の前に並べてみせた。

だれかが決めた普通じゃなくて  
その人の普通をその人らしく生きられたらいい  
これは地域で、たくさんの人に支えられて、支え、  
いのちを尽きて生き合う人たちの記録



生きて、生きて、生きて、  
普通に生きて

第25回  
あいち国際女性映画祭2020  
招待作品

# 普通に死ぬ

～いのちの自立～

ドキュメンタリー映画『普通に生きる』続編



その人らしく生きてその人らしく死ぬ。この映画はガチガチに固まった既成概念や正論に縛られ、身動きしづらくなっている私たちに、新しい考え方を提示してくれる希望の作品だった。

©2020/長編ドキュメンタリー映画/  
HD/カラー/119分  
製作: motherbird・Cinema Sound Works  
著作・配給: motherbird  
録音: 中山隆匡  
音楽: 木-Kodama- 雲  
ナレーター: 余貴美子  
プロデューサー: 製木かおり/貞末麻哉子  
監督・撮影・構成・編集: 貞末麻哉子



年齢を重ねてゆく重い障がいがある人とその家族……。在宅生活の中心的ケアラーが病に倒れると、残された医療的ケアの必要な人が、生まれ育った「地域で生ききる」ことはなぜこれほどまでに困難なのか。前作『普通に生きる』から十年。家族と支援者の葛藤や気付き、「一緒に生き合う」取り組みを追い、厳しい現実から希望を見出すドキュメンタリー。

